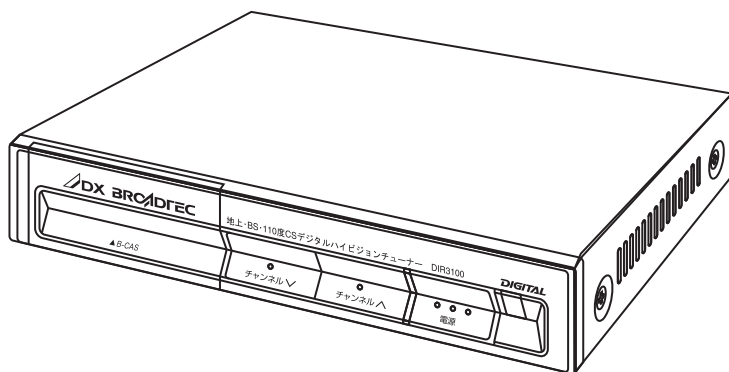
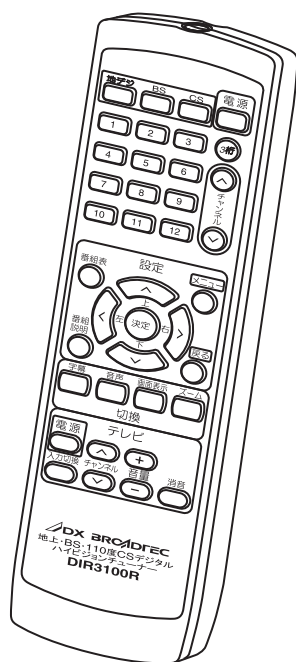
取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンチューナー DIR3100

DIGITAL

DXアンテナ製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な機能対応	
ハイビジョン	対応
CATVパススルー	対応
字幕放送	対応
電子番組表	対応
データ放送	非対応
双方向サービス	非対応

視聴できるデジタル放送	
地上デジタル	UHF 13～62ch. （90～770MHz、CATV C13～C63ch.はパススルーに対応）
BSデジタル	NHK BSデジタル※1、民放 BSデジタル WOWOW 有料※2、スター・チャンネル 有料※2
110度CSデジタル	スカパー！e2※3

※1　衛星放送受信契約をしてください。　※2　有料放送加入契約が必要となります。
※3　一部の（無料）案内放送を除き、有料放送加入契約が必要となります。

本機は、(社)電波産業会（ARIB）の運用仕様に基づいた仕様となっています。
その仕様に変更があった場合、本機の仕様を変更することがあります。

※保証書は取扱説明書の最後に記載しています。

8ページをご覧になり付属品が全て同梱されているかお確かめください

TINSJA143AWZZ
1004

もくじ

ご使用の前に

安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずこのページ(4～7)をお読みください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
(絵表示の一例です。)

⚠：記号は気をつける必要があることを表しています。

🚫：記号はしてはいけないことを表しています。

❗：記号はしなければならないことを表しています。

⚠ 警告

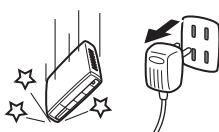
交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

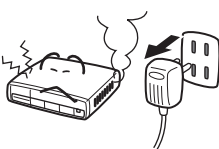
火災・感電の原因となります。

- **電源コードに重いものを乗せたり、本機の下敷きにしない**
- **電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、ひっぱったり、無理に曲げたり、加熱しない**

電源コードが傷ついて火災や感電の原因になります。電源コードが痛んだ場合(芯線の露出、断線)は販売店にご相談ください。

本機を落としたりキャビネットを破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様による修理は絶対におやめください。

⚠ 警告

- **本機に水がかかったり、ぬれるような使い方をしない**
- **そばに花瓶など、水の入った容器を本機の上に置かない**
- **風呂やシャワー室では使用しない**

水が本機内部に入ると火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺など屋外での使用は特にお控えください。

本機内部に異物などが入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご連絡ください。

キャビネットを外したり、改造しない

本体の内部をさわると感電や故障の原因となります。修理や内部の点検は販売店にご依頼ください。

本機を不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして本機の故障の原因や、けがの原因となります。水平な場所へ置いてください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（つづき）

⚠注意

電源プラグの刃などにホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

電源プラグを抜いてホコリや金属物を取り除いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となることがあります

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

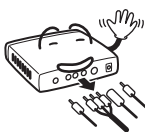
電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

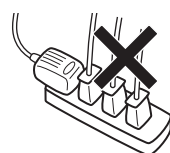
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

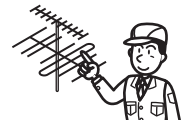
接続線を外さずに移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。

湿気やホコリの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

•風通しの悪いところに入れない
•密閉した箱に入れない
•じゅうたんや布団の上に置かない
•布などをかけない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

重いものを本機の上に置いたり、上に乗ったりしない

破損したり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

•通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
•本機内部の掃除は販売店に依頼する

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除については、販売店にご相談ください。

ご注意

- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

乾電池についての安全上のご注意

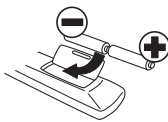
液もれ・破れつ・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠注意

電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意

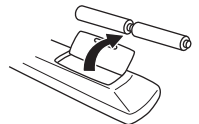
•指定以外の電池を使わない
•新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

•電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
•乾電池は充電しない

電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットなどのお手入れにベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることもありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなどやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多い所や、潮風にさらされる所では、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

守っていただきたいこと

電源・電圧について

- 必ず付属の AC アダプターをお使いください。他の AC アダプターを使われますと故障の原因になります。
- 交流 100V 以外のコンセントは使わないでください。交流 100V 以外のコンセントを使用した場合は、故障の原因となります。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。
- 傾斜のない平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所には設置しないでください。

取扱い上のご注意

- 強い衝撃を与えないようにしてください。振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。
- お子様やペットが、上に乗ったり、何かをぶつけたり、倒したりして衝撃を与えないようご注意ください。落下してけがや破損の原因になることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

使用上のご注意（つづき）

守っていただきたいこと

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

保存温度：−20℃～＋60℃
使用温度：0℃～＋40℃

長期間ご使用にならないとき

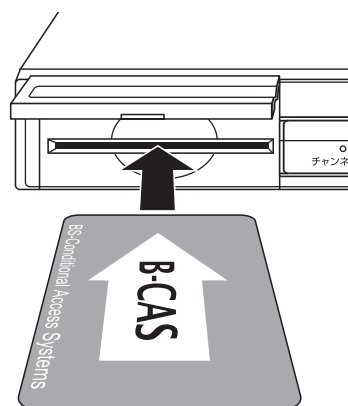
- 長期間使用しないと、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作させてください。

守っていただきたいこと

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CAS カードはむやみに抜き差ししない

- 必要以上に抜き差しすると故障の原因になることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは、「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、「B-CAS」と書いた矢印が上向きになるように、矢印の方向へカードを本機に挿入してください。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

あらかじめご承知ください

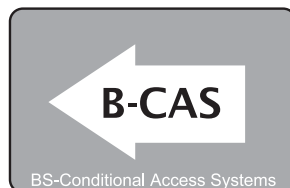
■ お客様がビデオデッキ・DVD レコーダーなどで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 本機の不具合により視聴または録画できなかった場合などの補償については一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

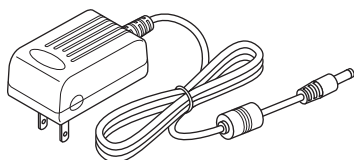
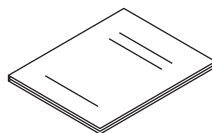
■一般家庭用の製品ですので、業務用の長時間使用や、車両・船舶へ搭載しての使用などはしないでください。故障の原因となることがあります。

付属品

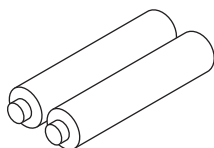
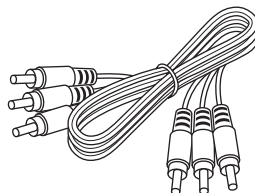
ご使用前に、下記の付属品がすべてそろっているかをご確認ください。

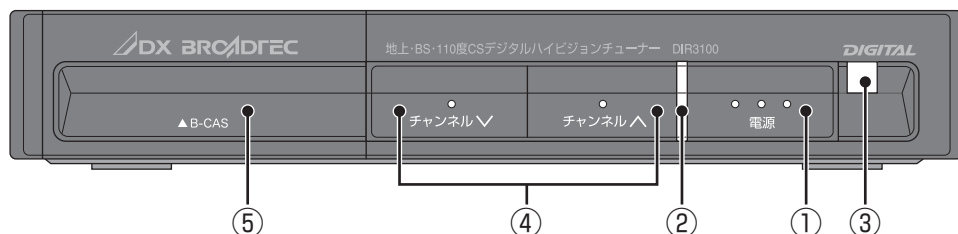
リモコン　1 個

B-CAS カード　1 枚

※ B-CAS カードは B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよく読んでください。

AC アダプター　1 個

取扱説明書（保証書）　1 部

※裏表紙が保証書になっています。

※当製品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan and a manual is available in Japanese only.

単 3 乾電池　2 個 〈動作確認用〉

映像・音声コード　1 本

各部のなまえ（本体）

正面

① 電源ボタン
本機の電源を入/切します。16 17 18 19

② 電源ランプ

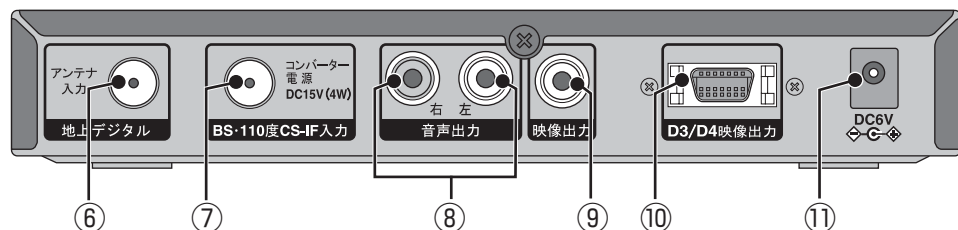
表示	状態
消灯	電源プラグが接続されていない状態
赤色/点灯	電源切(待機)状態（スタンバイ状態）
緑色/点灯	電源が入っている状態(動作中)
橙色/点灯	番組表の情報を取得している状態、またはソフトウェアダウンロード中の状態

● 故障の原因となりますので、電源ランプが橙色点灯中(番組表情報取得中、またはソフトウェア ダウンロード中)は電源プラグを抜かないでください。

③ リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

④ チャンネル∧/∨ボタン
チャンネルを選択します。17 18 19 20

⑤ B-CAS カードふた・B-CAS カードスロット
B-CAS カード(付属)を挿入します。
(B-CAS カードを入れる 14)

背面

⑥ 地デジ用アンテナ入力端子
地上デジタル放送アンテナケーブルを接続します。(アンテナをつなぐ 12)

⑦ 衛星放送用アンテナ入力端子
デジタル衛星放送アンテナケーブルを接続します。(アンテナをつなぐ 12)

⑧ 音声出力端子
付属の映像・音声コードを使ってテレビの音声入力端子と接続します。
(テレビをつなぐ 13)

⑨ 映像出力端子
付属の映像・音声コードを使ってテレビの映像入力端子と接続します。
(テレビをつなぐ 13)

⑩ D3/D4映像出力端子(D映像出力端子)
D映像入力端子のあるテレビなどを接続する場合に使います。(テレビをつなぐ 13)

⑪ 電源入力端子
付属の AC アダプターを接続します。
(電源をつなぐ 14)

各部のなまえ(リモコン)

本機を操作するボタン

放送切換ボタン
受信放送の種類を切り換える時に使用します。17 18 19 20

チャンネル(数字)ボタン
チャンネル番号を入力するときに使います。
17 18 19 20
32 33

番組表ボタン
電子番組表(EPG)を表示します。22 23

カーソルボタン
設定メニューの項目を選択するときに使います。

番組説明ボタン
番組詳細情報を表示します。
22 24

字幕ボタン
字幕放送の視聴中に字幕の切り換えができます。28

音声ボタン
多重音声放送の視聴中に、主音声、副音声などの音声内容を選ぶことができます。27

電源ボタン(赤色)
本機の電源を入 / 切します。
16 17 18 19

3 桁入力ボタン
選局を 3 桁で指定するときに使います。20

チャンネル⌃/⌄ボタン
チャンネルを選択します。
17 18 19 20

メニューボタン
設定メニュー画面を表示します。

決定ボタン
メニュー画面などで選択した項目を確定するときに使います。

戻るボタン
電子番組表 (EPG) やメニュー設定画面などで前の画面に戻るときに使います。

ズームボタン
テレビ画面をズーム表示に切り換えます。26

画面表示ボタン
番組を見ているときに押すと、チャンネル番号などが表示されます。23 24

テレビを操作するボタン

TV電源ボタン(赤色)
テレビの電源を入 / 切します。
16 17 18 19

TV入力切換ボタン
テレビの入力を切り換えます。
16 17 18 19

TV 選局ボタン
テレビのチャンネルを選局するときに使います。16 17 18 19

消音ボタン
テレビの音声を一時的に消します。

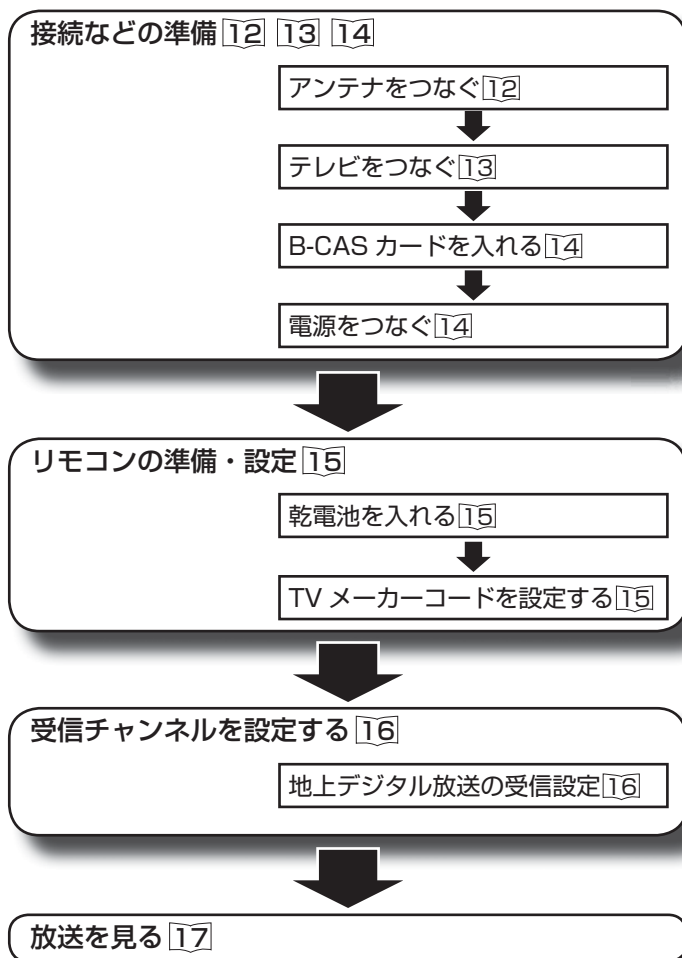
TV 音量ボタン
テレビの音量を調節します。
16 17 18 19

※(灰色の)ボタンはテレビを操作するためのボタンです。
このボタンでテレビを操作するには、TV メーカーコードの設定が必要です。
(TV メーカーコードを設定する 15)
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
(本体のリモコン受光部に向けて操作しても動作しません。)

操作の流れ

放送を見るための準備

お買い上げ後、初めて本機をお使いになるときは、以下の手順で準備を行なってください。

準備操作の流れ

放送を見る

準備操作がすでに済んでいる場合は、放送を見る 17 の操作を行なってください。

放送を見る 17

設置・接続

以下の手順でテレビ機器と接続し、受信チャンネルを設定します。

接続などの準備

アンテナをつなぐ

■ 地上デジタル放送の受信には、UHF 対応のアンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。（一部取り換えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがありますので詳しくは販売店にご相談ください。）

■ 地上デジタル放送を CATV パススルーで受信する場合も、UHF アンテナと同じ接続をします。CATV による地上デジタル放送の受信については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。

■ BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の受信には、BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナ（別売品）が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

- CATV パススルーとは：地上デジタル放送を CATV 局経由で再送信することです。CATV 局において、元の放送電波とおなじ周波数を使って再送信する場合と、元の放送電波とは異なる周波数を使って再送信する場合があります。なお、トランスモジュレーション方式（アナログ放送などに変換する方式）には対応しておりません。

BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナを個別に設置している場合

BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナ（別売品）

地上デジタル放送用アンテナ（UHF・別売品）

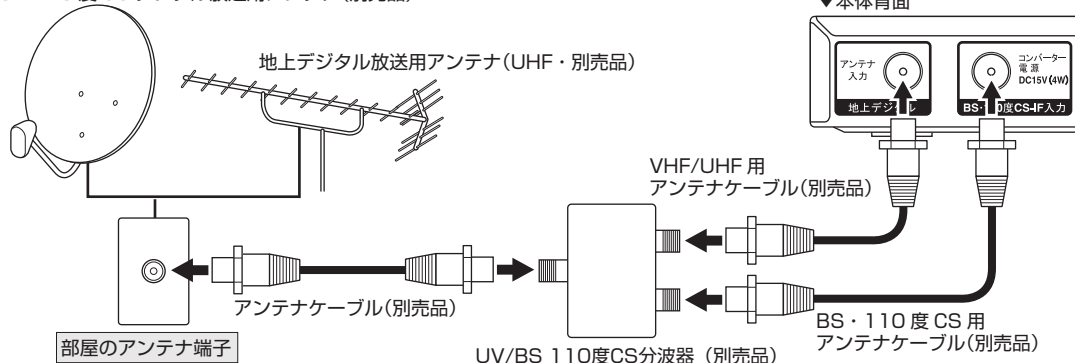
▼本体背面

VHF/UHF 用アンテナケーブル（別売品）

部屋のアンテナ端子

BS・110 度 CS 用アンテナケーブル（別売品）

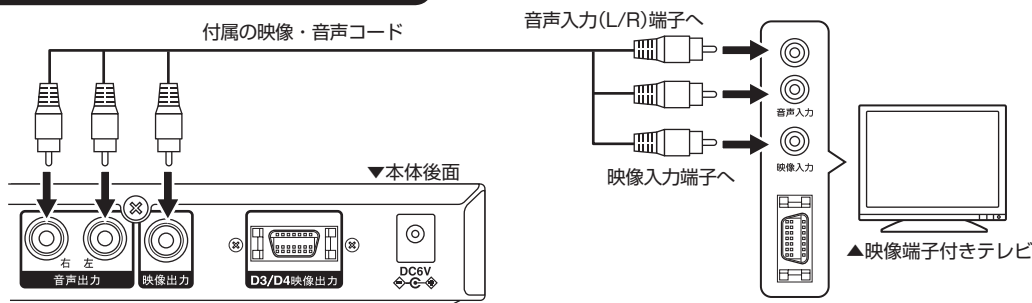
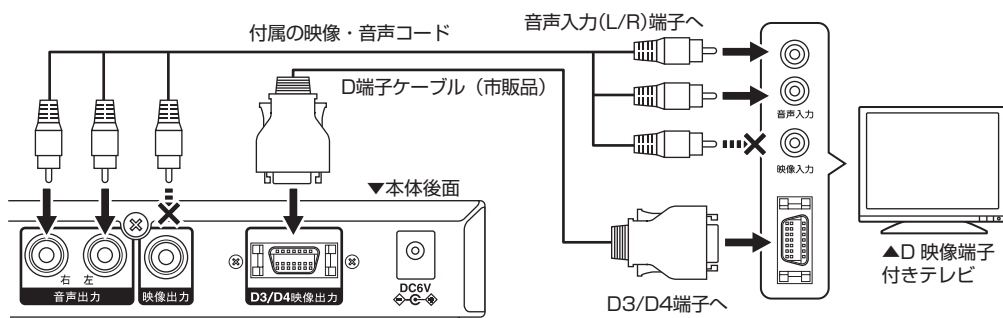
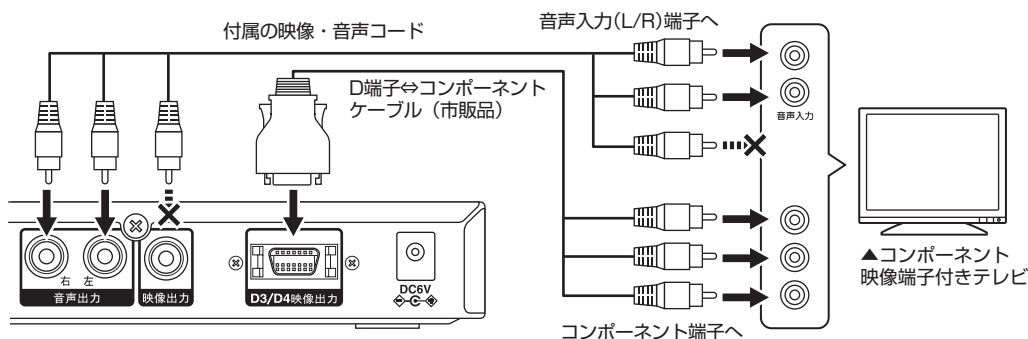
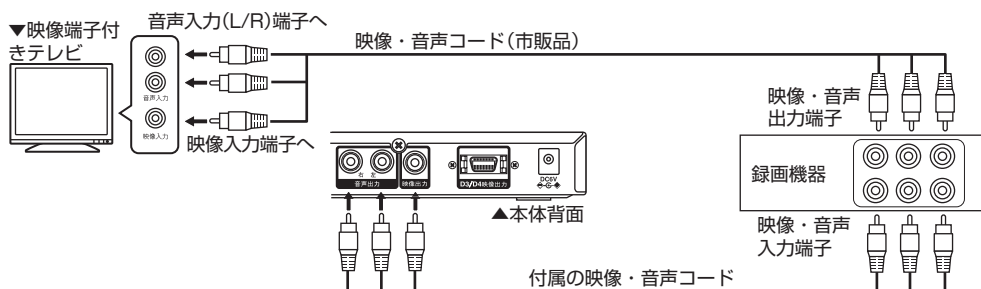
部屋のアンテナ端子

集合住宅などで、共同受信アンテナに接続している場合

お知らせ

- VHF/UHF の屋内アンテナ端子が別れている場合など、混合器の取付が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- お住まいの地域が、地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お近くの電器店または「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」（電話 0570-07-0101）にご相談ください。

テレビをつなぐ

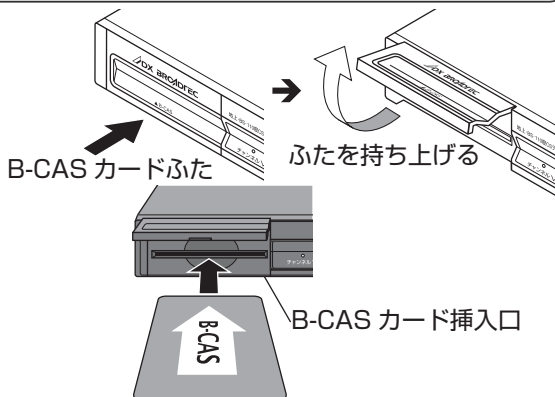
■ 付属の映像・音声コードで本機とテレビの映像端子・音声端子を接続します。
■ D 端子付きテレビをご使用の場合、D 端子ケーブル(市販品)で本機とテレビの D 端子を接続することもできます。このとき、映像出力端子から信号がでませんので、映像端子は接続しません。
■ コンポーネント端子付きテレビをご使用の場合、D 端子←→コンポーネントケーブル(市販品)で本機とテレビのコンポーネント端子を接続することもできます。

付属の映像・音声コードでつなぐ

D 端子ケーブルと音声ケーブルでつなぐ

D 端子⇔コンポーネントケーブルと音声ケーブルでつなぐ

録画機器と接続する場合

B-CAS カードを入れる

本機の電源が切れていることを確認してください。

B-CAS カードふたを上に持ち上げて開けます

B-CAS カードを表面の矢印の方向に差し込みます（奥まで確実に差し込みます）

設置・接続

お知らせ

B-CAS カードについて

- B-CAS カードには視聴情報などが記録されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人がお客様の B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも視聴料はお客様の口座に請求されます。
- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります(2009 年2月現在)。詳しくは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。(カスタマーセンター連絡先は B-CAS カードに記載されております。)

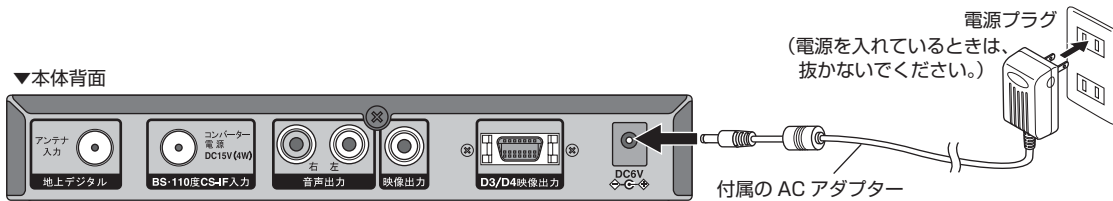
お知らせ

B-CAS カード取り扱い上のご注意

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- カードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの金属部分(集積回路)には手を触れないでください。
- 分解、加工しないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CAS カードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ゆっくりと抜いてください。
- B-CAS カードには IC(集積回路)が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

電源をつなぐ

■ 本体背面の電源入力端子に AC アダプターを接続してから家庭用電源コンセント(交流 100V)に接続してください。

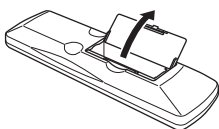
■ 電源が正しく接続されると、本機は電源切(待機)状態になり、電源ランプ 9 が赤く点灯します。

電源の接続について

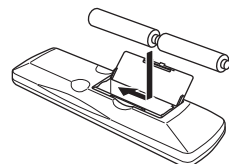
- 本機は電源切(待機)状態でも電波を受信し、番組表の情報を更新したり、ソフトウェアダウンロードを行なっている場合がありますので、電源プラグをコンセントに接続したままでご使用になることを推奨します。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに初期設定の状態に戻り、受信設定の内容が消去される場合があります。このような場合は、地上デジタル放送の受信設定 16 を行なってください。

リモコンの準備・設定

乾電池を入れる

1 カバーを開けます

ツメを押しながら、カバーを矢印の方向に外します。

2 単３型乾電池を入れ、カバーを元通りに閉めます

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

TV メーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

TV メーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。
※あらかじめ登録されている TV メーカー以外は対応していません。

メーカーコード設定のしかた

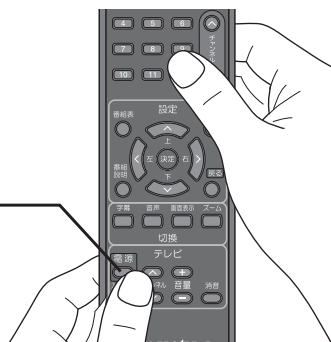
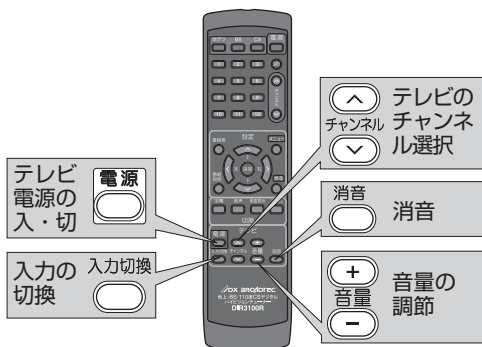
1 リモコンの 電源 (テレビ用)を押しながら、

2 ご使用のテレビにあった TV メーカーコードのボタンを５秒間押し続けます。

TV メーカー	TV メーカーコード	TV メーカー	TV メーカーコード
DX１	1	日本ビクター	9
DX２	2	ソニー	10
DX３	3	三菱	11
シャープ１	4	日立	12
シャープ2	5	東芝	音声
シャープ3	6	パイオニア	字幕
パナソニック(松下)1	7	三洋１	番組説明
パナソニック(松下)2	8	三洋2	番組表

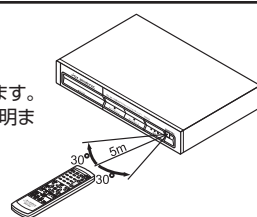
※ DX は DX BROADTEC の略称です。
※ FUNAI 製テレビをお使いの場合は、上記メーカーコードの DX1、DX2、DX3 のいずれかが使える場合があります。
※ 上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合があります。

3 電源 (テレビ用)を離します

設定後は 電源 (テレビ用)を押してテレビの電源を入・切できるか確認してください。

下記のボタンでテレビの操作が行えます。
テレビを操作するときは、ご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
(本体のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。)

使用上のご注意

■リモコンは本体、またはテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
■リモコンには衝撃を与えないでください。
　また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
■リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置しないでください。熱により変形することがあります。
■本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。

お知らせ

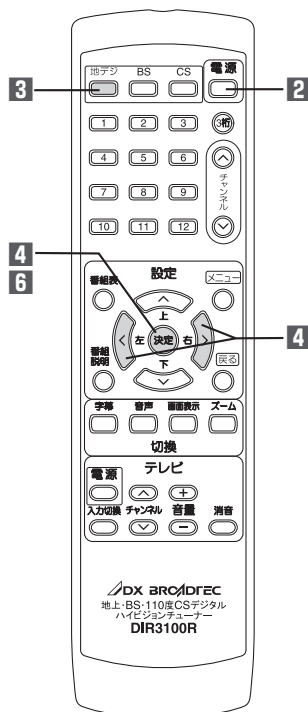
・付属の乾電池は、保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
・長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

受信チャンネルを設定する

地上デジタル放送の受信設定

地上デジタル放送を受信するための受信チャンネルを設定します。

準　備

●はじめにアンテナをつなぐ 12、テレビをつなぐ 13をご覧になり、アンテナの接続、テレビとの接続を行なってください。

受信チャンネルの設定

お知らせ

● 実際と異なる地域を設定した場合、チャンネルが正しく設定されない場合があります。

お知らせ

● 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。アンテナをつなぐ 12をご参照になり、アンテナの接続をご確認ください。

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機をテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるようにテレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

TV メーカーコード設定 15をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの 電源 ボタンまたは本体の 電源 ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

初めて電源を入れたときは BS デジタル放送が映ります

1　BS　NHK 011　NHK BS 1　1:35
1:30～2:30　1時のニュース「901234567890…

3 地デジ ボタンを押します

スキャンが完了していないため、地上デジタル放送が視聴できません。
決定ボタンで初期スキャンを行ってください。
（[BS][CS]で視聴画面に戻ります。）
[決定]初期スキャン

4 決定 ボタンを押します

初期スキャン画面に切り換わります。

左 右 でご使用になる地域を選び、決定 ボタンを押します

初期スキャンを実行します。

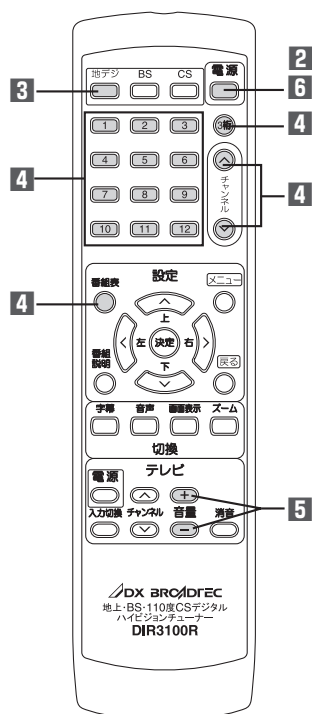
5 初期スキャンが完了すると、見つかったチャンネルを表示します

6 決定 ボタンを押します

チャンネルの登録を終了し、地上デジタル放送の受信状態になります。

放送を見る

通常の操作はリモコンで行います。本体前面に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

地上デジタル放送を見る

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機をテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、テレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

TV メーカーコード設定 15 をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 ［地デジ］ボタンを押します

地上デジタル放送の受信状態になります。

4 チャンネルを選びます

本機ではチャンネルを指定する方法が４通りあります。

① リモコンのチャンネル⌃／⌄または、本体のチャンネル⌃／チャンネル⌄ボタンで選ぶ。

② リモコンのチャンネル（数字）ボタン［1］〜［12］で選ぶ。

③ 3 桁チャンネル番号を指定して選ぶ。

④ 電子番組表（EPG）で選ぶ。

詳しい操作方法は、番組を切り換える 20 をご参照ください。

5 音量を調節します

テレビを操作して音量を調節します。

※ TV メーカーコード設定 15 をしている場合は、付属リモコンの TV 音量［＋］／［－］ボタンを使って音量を調節できます。

6 電源を切ります

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押すと電源切（待機）状態となり、電源ランプが緑から赤点灯に変わります。

BS デジタル放送を見る

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機をテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、テレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

TV メーカーコード設定 15 をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 ［BS］ボタンを押します

BS デジタル放送の受信状態になります。

4 チャンネルを選びます

本機ではチャンネルを指定する方法が４通りあります。

① リモコンのチャンネル⌃／⌄または、本体のチャンネル⌃／チャンネル⌄ボタンで選ぶ。

② リモコンのチャンネル（数字）ボタン［1］〜［12］で選ぶ。

③ ３桁チャンネル番号を指定して選ぶ。

④ 電子番組表（EPG）で選ぶ。

詳しい操作方法は、番組を切り換える 20 をご参照ください。

5 音量を調節します

テレビを操作して音量を調節します。

※ TV メーカーコード設定 15 をしている場合は、付属リモコンの TV 音量［＋］／［－］ボタンを使って音量を調節できます。

6 電源を切ります

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押すと電源切（待機）状態となり、電源ランプが緑から赤点灯に変わります。

お知らせ

- 初めて BS デジタル放送をご覧になる場合は、手順 3 で BS デジタル放送の受信状態にしたあと約 10 秒間待っていただくことをお薦めします。約 10 秒間待っていただくことで、BS デジタル放送のチャンネル情報を取得することができます。

お知らせ

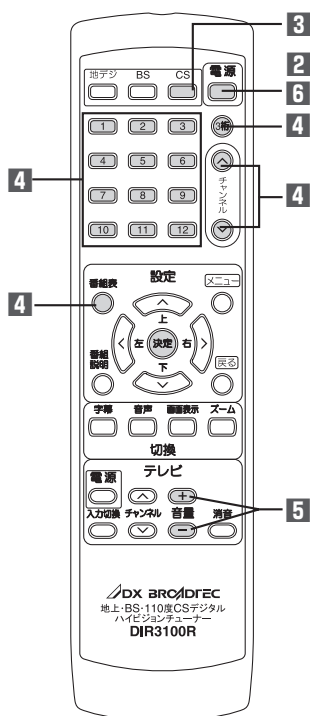
BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを個別に設置している場合

- 本機の他に BS・CS デジタル放送受信用の機器がない場合は、アンテナに電源を供給する 31 をご参照になり本機の「電源供給」を「入」にしてお使いください。

お知らせ

「NHKでは BS 設置のご連絡をお願いしています。」という画面が表示された場合

- NHKの BSデジタル放送受信契約を行っていない場合は、NHK BS デジタル放送を視聴中に「NHKでは BS 設置のご連絡をお願いしています。」という画面が表示されることがあります。
  表示されるメッセージには「リモコンの青ボタンを２秒以上押し続けると詳しいご案内を表示します。」という操作手順がありますが、本機には青ボタンがありませんので、ご面倒ですが画面に表示される電話番号まで、メッセージの消去方法についてお問い合わせください。

110度CSデジタル放送を見る

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機をテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、テレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

TV メーカーコード設定 15 をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 ［CS］ボタンを押します

110 度 CS デジタル放送の受信状態になります。

［CS］ボタンを押すごとに、CS1 受信状態 と CS2 受信状態 が切り換わります。

4 チャンネルを選びます

本機ではチャンネルを指定する方法が4通りあります。

① リモコンのチャンネル⌃／⌄または、本体のチャンネル⌃／チャンネル⌄ボタンで選ぶ。

② リモコンのチャンネル(数字)ボタン［1］〜［12］で選ぶ。

③ 3 桁チャンネル番号を指定して選ぶ。

④ 電子番組表(EPG)で選ぶ。

詳しい操作方法は、番組を切り換える 20 をご参照ください。

5 音量を調節します

テレビを操作して音量を調節します。

※ TV メーカーコード設定 15 をしている場合は、付属リモコンの TV 音量［+］／［−］ボタンを使って音量を調節できます。

6 電源を切ります

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押すと電源切(待機)状態となり、電源ランプが緑から赤点灯に変わります。

お知らせ

- 初めて 110 度 CS デジタル放送をご覧になる場合は、手順 3 で CS1 受信状態(または CS2 受信状態)にしたあと約 10 秒間待っていただくことをお薦めします。約 10 秒間待っていただくことで、110 度 CS デジタル放送のチャンネル情報を取得することができます。

メ モ

BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送では、視聴年齢制限つきの番組が放送されている場合があります。

視聴年齢制限つきの番組を受信した場合は、暗証番号を入力することにより番組の視聴が可能になります。

「暗証番号」が未設定の場合

視聴年齢制限

この番組は視聴年齢制限があります。
視聴するにはメニューより、
暗証番号を設定してください。

が表示されます。 34 ページ「暗証番号を設定する」にしたがって暗証番号を設定してください。

「暗証番号」が設定済の場合

が表示されます。設定した暗証番号を入力すると視聴可能になります。

放送を見る

番組を切り換える

放送の種類を切り換える

地デジ BS CS ボタンで放送の種類を切り換えます。

- 地デジボタンを押すと、地上デジタル放送に切り換わります。
- BSボタンを押すと、BS デジタル放送に切り換わります。
- CSボタンを押すと、CS デジタル放送に切り換わります。CSボタンを押すごとに CS1 受信状態と CS2 受信状態が切り換わります。

チャンネルを切り換える

本機ではチャンネルを指定する方法が4通りあります。

① リモコンのチャンネル∧／∨または、本体のチャンネル∧／チャンネル∨ボタンで選ぶ
② リモコンのチャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 で選ぶ
③ 3 桁チャンネル番号を指定して選ぶ
④ 電子番組表(EPG)で選ぶ

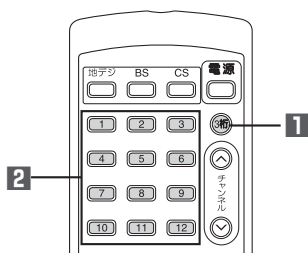
リモコンのチャンネル∧／∨または、本体のチャンネル∧／チャンネル∨ボタンで選ぶ

チャンネル∧ボタンまたはチャンネル∨ボタンでチャンネルがひとつずつ切り換わります。

リモコンのチャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 で選ぶ

見たい放送に割り当てられたチャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 を押します。

3 桁チャンネル番号を指定して選ぶ

リモコンの3桁ボタンとチャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 を使って、見たい放送の3桁チャンネル番号を直接指定します。

1 3桁ボタンを押します

3桁番号入力欄が表示されます。

CH：－－－

2 チャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 で見たい放送の3桁チャンネル番号を入力します

3桁すべてを入力すると、チャンネルが切り換わります。

- 例えば、見たい放送の3桁番号が 051 ならば、10 5 1 の順にチャンネル(数字)ボタンを押します。先頭の桁が０であっても省略できません。
- 番号を間違えた場合などで、該当する3桁チャンネル番号の放送がない場合は、「指定したチャンネルはありません。」と表示されます。この場合は、3桁ボタンを押してから入力し直します。

電子番組表(EPG)で選ぶ

電子番組表(EPG)を表示する22をご参照ください。

放送を見る

デジタル放送の３桁チャンネル番号について

- デジタル放送では、それぞれの放送に３桁のチャンネル番号がつけられています。番組表や画面表示にはこの３桁のチャンネル番号が表示されます。それぞれの放送に割り当てられた３桁チャンネル番号は番組表などで確認できます。電子番組表(EPG)を表示する22をご参照ください。

チャンネル(数字)ボタン 1 〜 12 について

- 地上デジタル放送では、通常は３桁のチャンネル番号の上位２桁の値とリモコンのチャンネル(数字)ボタンが一致するようなチャンネルの割り当てになります。例えば、３桁チャンネル番号が「021」ならば、リモコンのチャンネル(数字)ボタンの 2 に割り当てられます。
- 地上デジタル放送の３桁チャンネル番号とチャンネル(数字)ボタンの割り当ては、地域ごとに異なります。また、放送地域内では、それぞれの放送ごとに異なった番号が割り当てられています。隣接する地域の放送が受信できる場合で、同じ３桁チャンネル番号が割り当てられた複数の放送が受信できる場合は、現在設定されている地域の放送が優先してリモコンのチャンネル(数字)ボタンに割り当てられ、隣接する地域の放送はリモコンのチャンネル(数字)ボタンの空き番号に割り当てられます。
- BS デジタル放送では、工場出荷時に表のようなチャンネル(数字)ボタンが割り当てられています。

チャンネル(数字)ボタン	放送名	チャンネル(数字)ボタン	放送名
1	NHK BS1	7	BS ジャパン
2	NHK BS2	8	BS フジ・181
3	NHK BS hi	9	WOWOW
4	BS 日テレ	10	スター・チャンネル
5	BS 朝日	11	BS 11
6	BS-TBS	12	TwellV

(この表の割り当ては、2010 年 3 月現在のものですが、変更されることがあります)

- 110 度 CS デジタル放送では、工場出荷時には CS1 と CS2 ともにチャンネル(数字)ボタン 1 だけが割り当てられています。

CS1		CS2	
チャンネル(数字)ボタン	３桁チャンネル番号	チャンネル(数字)ボタン	３桁チャンネル番号
1	001	1	100（e２プロモ）

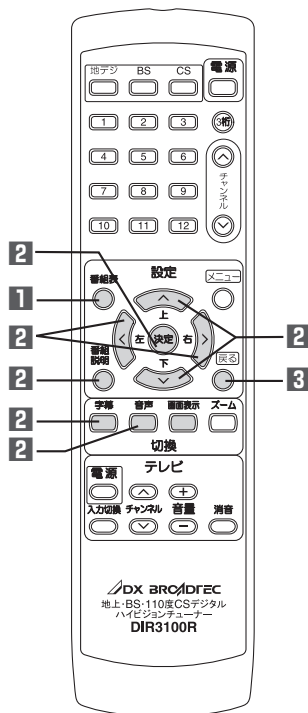
(2010 年３月現在、CS1 001ch は放送されていません。)

一つの放送局から複数の番組を同時に放送する場合

- 地上デジタル放送では、一つの放送局が複数の番組を同時に放送することがあります。このような場合は、同時に放送されるそれぞれの番組に、「021」「022」のような、１の位の数字だけが異なる３桁チャンネル番号が割り当てられます。
- このような場合は、チャンネル ⌃／⌄ ボタンで番組を選ぶことができます。

便利な機能

電子番組表(EPG)を表示する

電子番組表(EPG)は、番組一覧を表示する機能です。
本機の電子番組表(EPG)では、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。電源プラグをコンセントに接続した直後などで、番組表データが取得できていないときは、「番組情報がありません。」と表示されますが、放送が受信できている場合は、しばらく待つと番組情報が表示されることがあります。

1 番組表ボタンを押します

現在の番組を含め、6番組が表示されます。

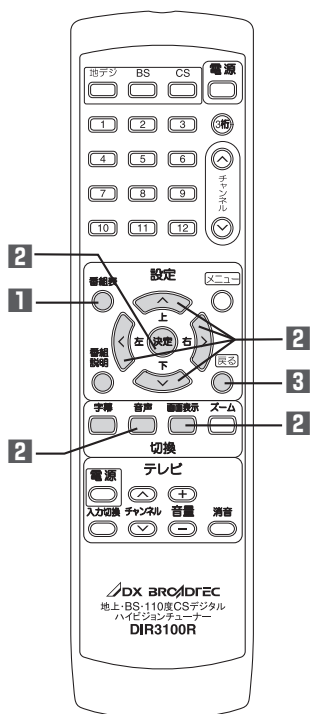
2 (上下左右)で番組を選びます

- 字幕ボタンで翌日の番組表を、音声ボタンで前日の番組表を表示します。
  1週間先の番組情報を見ることができます。
- (左右)で表示するチャンネルを選べます。
- 決定ボタンを押すと、番組表の表示を終了して、表示しているチャンネルに切り換わります。
- 番組説明ボタンを押すと選択している番組の説明を見ることができます。

3 戻るボタンを押して操作を終了します

お知らせ

- 電波状態が悪く放送が受信できない場合などは、番組表データを取得できないことがあります。そのような場合は、「番組情報がありません。」と表示されます。
- 視聴中は、視聴しているチャンネルの番組内容が更新されます。番組表の表示中は、表示中のチャンネルの番組表が更新されます。
- 設定メニューの「自動ダウンロード」41を「する」に設定すれば、本機が電源切(待機)状態時に番組表データが更新されます。(番組表更新中は、橙色点灯になります。)

電子番組表(EPG)の番組検索

1 番組表 ボタンを押します

現在の番組を含め、６番組が表示されます。

2 画面表示 ボタンを押します

番組検索画面を表示します。

● 上下左右 を押してジャンルなどの検索条件を指定し、決定 ボタンを押して検索を実行します。

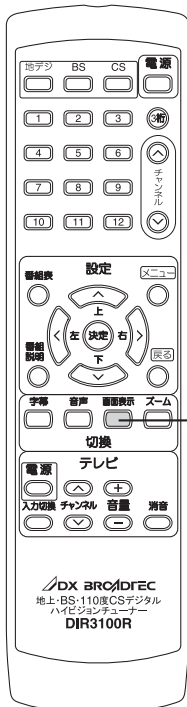
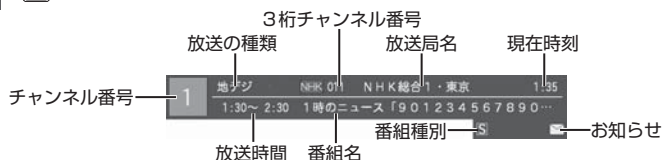
● 音声 ボタンでジャンルなどの検索条件を変更できます。

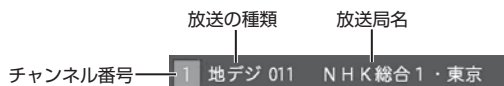
● 上下左右 で番組を選ぶことができます。

● 決定 ボタンを押すと、選ばれている番組の番組詳細が表示されます。

3 戻る ボタンを押して操作を終了します

番組詳細表示

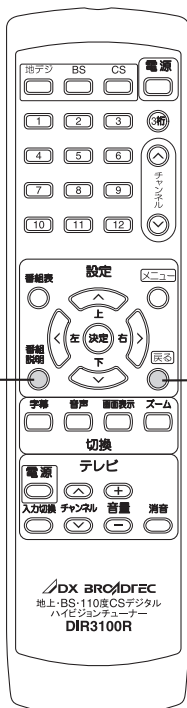
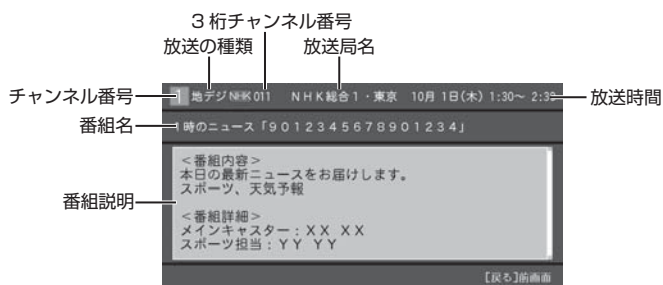
視聴中の番組名、放送局名、チャンネル番号などを表示します。

1 画面表示 ボタンを押します

表示	番組種別	表示	番組種別
S	ステレオ放送	HV	ハイビジョン放送
二	二重音声放送	SD	標準放送
多	多チャンネル音声放送	鍵	視聴制限
字	字幕放送		

●約５秒後に「簡易表示」になり、表示を継続します。

●画面表示ボタンを押すと、表示を消します。

メ モ

放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

番組説明

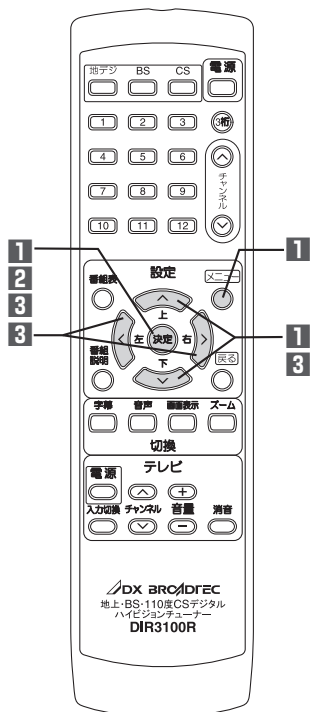
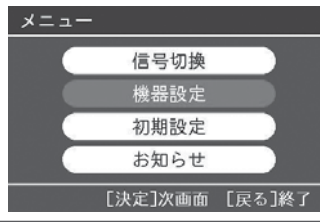
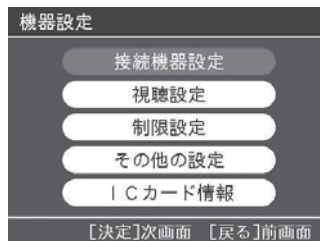
デジタル放送の番組データを利用し、視聴中の番組名や内容、放送時間などの情報を表示することができます。

1 番組説明 ボタンを押します

2 戻る ボタンを押して操作を終了します

メ モ

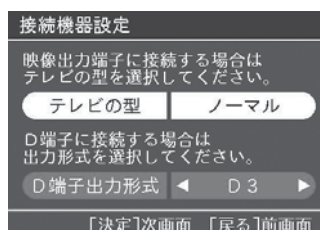
放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

映像信号形式設定

D 映像出力端子を使用している場合のみ

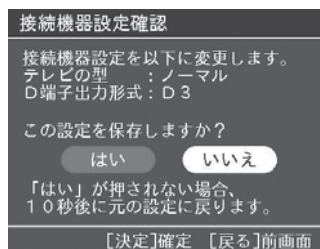
D 映像出力端子と音声出力端子を使用してテレビと接続している場合は、お使いのテレビに合わせて、映像信号の出力形式を切り換えることができます。

1 メニュー ボタンを押し、上下左右で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 「接続機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「D 端子出力形式」を選択し、左右で「D3」または「D4」を選んで、決定ボタンを押します

D3 端子つきのテレビをお使いの場合は、「D3」を、D4 端子つきのテレビをお使いの場合は、「D4」を選んでください。

●信号が切り換わった後の映像をご確認ください。
映像が正しく表示され、右図のような画面が表示されていれば、正しく切り換わっていますので左右で「はい」を選んで決定を押します。
※この画面は約 10 秒間表示されます。
※信号が切り換わったあとの信号をテレビが表示できない場合は、約 10 秒間待てば「はい」を選ぶ前の画面に戻ります。

お知らせ

- D3 映像端子つきのテレビをお使いの場合で、「D 端子出力形式」を「D4」に設定した場合は、テレビに映像が映らない場合があります。手順３で「D4」を選んだ後、テレビに何も映らなくなった、もしくは、映り方がおかしい、という場合はそのままで約 10 秒間お待ちください。設定がもとの「D3」に戻ります。

お知らせ

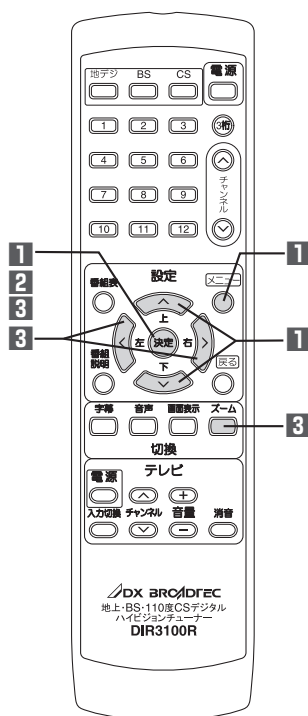
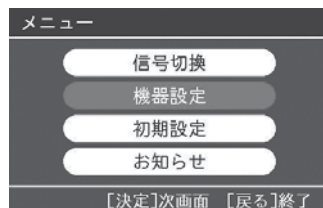
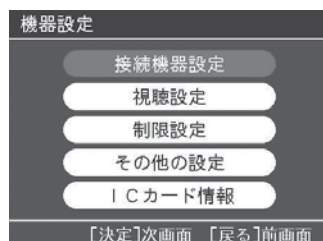
- 映像出力端子と音声出力端子を使用してテレビと接続している場合は、「D 端子出力形式」を切り換えても信号は切り換わりません。

お知らせ

- D 映像出力端子を使ってテレビと接続している場合は、「テレビの型」を切り換えても、信号は切り換わりません。

便利な機能

画面サイズ設定

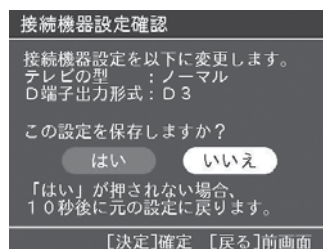
映像出力端子を使用している場合のみ

(D 映像出力端子を使わず、)映像出力端子と音声出力端子を使用してテレビと接続している場合は、お使いのテレビに合わせて、画面サイズを切り換えることができます。

1 メニュー ボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定 ボタンを押します

2 「接続機器設定」を選んで、決定 ボタンを押します

3 左右で「ノーマル」または「ワイド」を選び、決定 ボタンを押します

通常サイズ(4：3)のテレビをお使いの場合は、「ノーマル」を、ワイド(16：9)テレビをお使いの場合は、「ワイド」を選んでください。

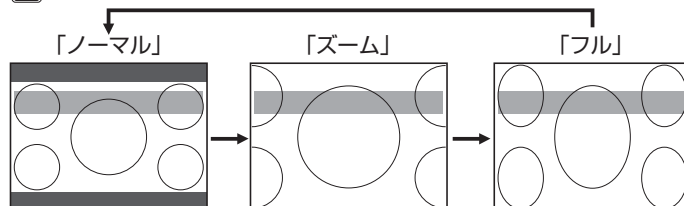
●信号が切り換わった後の映像をご確認ください。
映像が正しく表示され、右図のような画面が表示されていれば、正しく切り換わっていますので、左右で「はい」を選んで 決定 を押します。

※この画面は約 10 秒間表示されます。

※信号が切り換わったあとの信号をテレビが表示できない場合は、約 10 秒間待てば「はい」を選ぶ前の画面に戻ります。

●ズーム ボタンを押してお好みの画面サイズを選ぶことができます。

● 映像出力端子と音声出力端子を使用してテレビと接続している場合は、「D 端子出力形式」を切り換えても信号は切り換わりません。

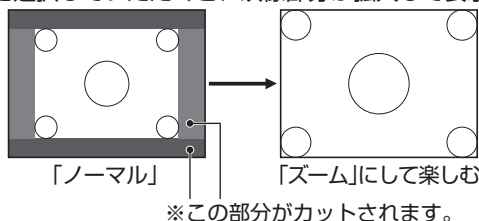
● D 映像出力端子を使ってテレビと接続している場合は、「テレビの型」を切り換えても、信号は切り換わりません。

便利な機能

お知らせ

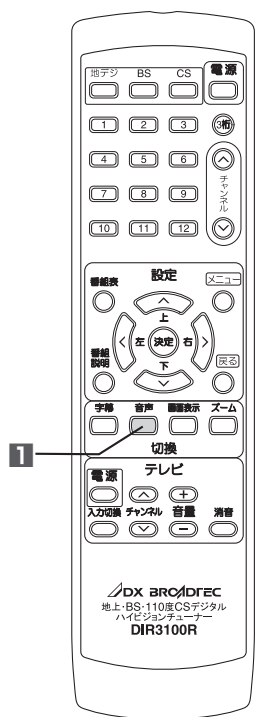
- 本機の画面サイズ切り換え機能を使う場合、お使いのテレビの縦横比とテレビ番組の縦横比が異なる組み合わせを選びますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面サイズをお選びください。
- 放送を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において本機の画面サイズ設定機能を利用して画面の引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

「ノーマル」：元の映像（16：9）の上下に黒帯をつけて表示します。
通常（4：3）のテレビの場合に、元の映像の縦横比が守られます。
「ズーム」：元の映像の中央部分を上下左右に引き伸ばします。
「フル」：元の映像（16：9）を上下に引き伸ばして画面全体に表示します。
通常（4：3）のテレビの場合に、縦長の映像になります。

メ モ

16：9 映像で左右に映像がない、または、黒帯のある映像の場合「ズーム」を選択していただくと、映像部分が拡大して表示されます。

音声切換

二重音声放送などの視聴中に、主音声、副音声などの音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声 ボタンを押します

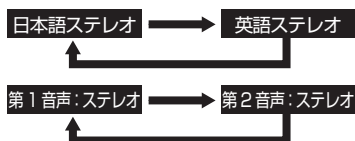
音声 ボタンを押すたびに音声が切り換わり、選ばれた音声の種類が画面右に表示されます。

・マルチ音声番組のとき

第１音声 → 第２音声

・二重音声番組のとき

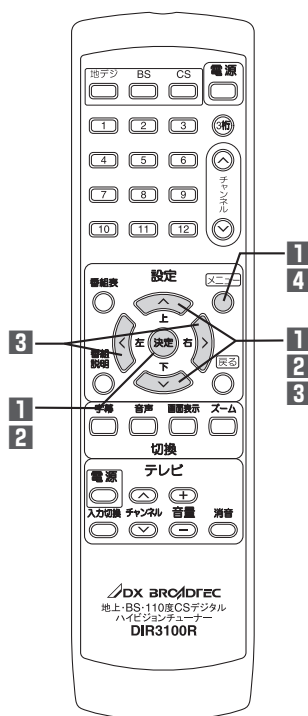
お知らせ

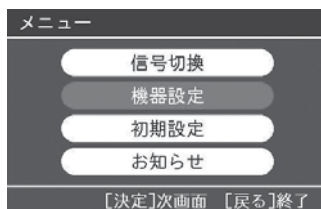
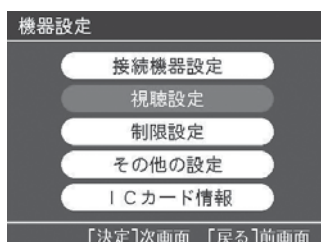
- 番組によっては「主音声」と「副音声」が同じ音声の場合があります。
- 「主音声」、「副音声」、「主＋副」の切り換えは、「設定メニュー」の「信号切替」－「音声」からも操作できます。
- 地上デジタル放送では、切り換えられる音声の種類と数は番組により異なります。
このような場合は、音声を切り換えた際の画面表示も番組にあわせて

のような表示になる場合があります。
音声の種類は、番組詳細表示 24 で確認できます。

便利な機能

字幕を表示する

字幕放送の視聴中に字幕を表示します。また、複数の言語の字幕がある場合は表示される字幕の言語を選択することができます。

メニュー操作で切り換える場合

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

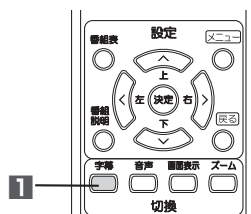
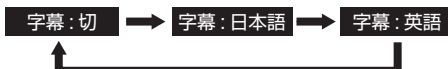
2 上下で「視聴設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「字幕」を選択し、左右で「日本語」「英語」「切」を選びます

4 メニューボタンを押して操作を終了します

字幕ボタンで切り換える場合

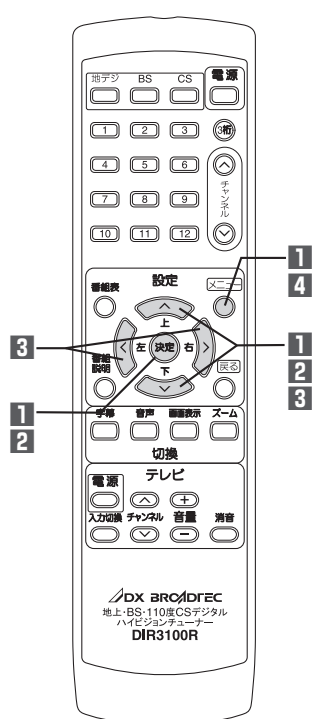
1 字幕ボタンを押します

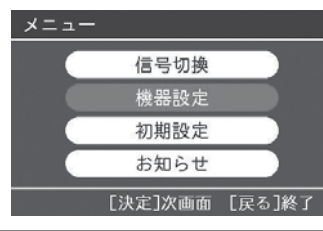
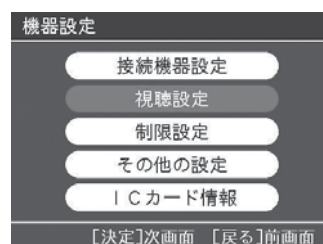
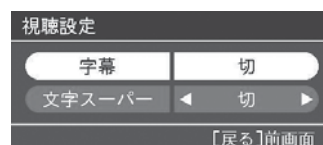
字幕ボタンを押すたびに、

字幕：切 → 字幕：日本語 → 字幕：英語

のように切り換わります。
番組によっては英語の字幕がない場合もあります。

便利な機能

文字スーパーを表示する

ニュース速報などの情報が文字スーパーとして送信されることがあります。
また、表示される言語を選択することができます。

1 ボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「視聴設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「文字スーパー」を選択し、左右で「日本語」「英語」「切」を選びます

4 メニューボタンを押して操作を終了します

文字スーパーの設定を「なし」に設定していても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指定された文字スーパーを受信した場合は、これを表示します。

便利な機能

その他の機能

アンテナ受信レベルを確認する

各放送局の受信状態の目安(受信の品質)を確認します。(電波の強さを表すものではありません。)

1 メニューボタンを押し、上下左右で「初期設定」を選んで、決定ボタンを押します

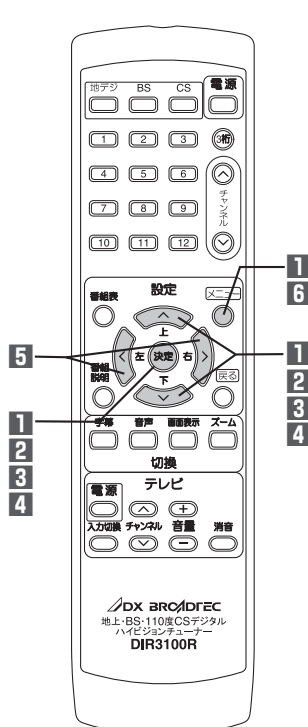
2 上下左右で「チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下左右で放送の種類「地デジ」「BS」「CS1」「CS2」を選んで、決定ボタンを押します

4 上下左右で「アンテナレベル」を選択し、決定ボタンを押します

5 上下左右で表示したいチャンネルを選びます

※物理チャンネルが表示されます。

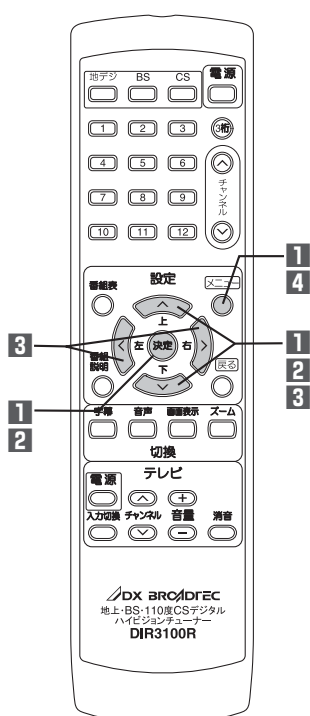
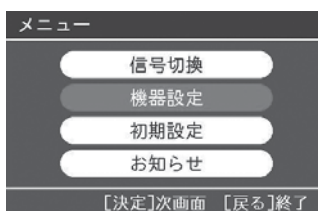
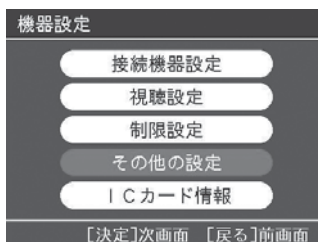
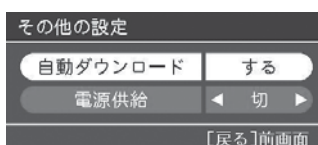
6 メニューボタンを押して操作を終了します

お知らせ

- 表示される「受信レベル」は、アンテナの方向調整などにお使いいただくためのもので、絶対的な電波の強さを示すものではありません。

お知らせ

- 手順5において60以下の値になり、画面にモザイク(四角いノイズ)が出る場合や、「信号が受信できません。アンテナ線をご確認ください。コード:E202」と表示される場合は、アンテナの方向やアンテナケーブルの状態を確認してください。
受信レベルが上がらない場合は、販売店などにご相談ください。
アンテナレベルの目安は61〜99です。

アンテナに電源を供給する

本機のアンテナ電源供給機能は、BS・110度CSデジタル放送用のアンテナに電源を供給するためのものです。

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「その他の設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「電源供給」を選択し、左右で「入」「切」を選びます

4 メニューボタンを押して操作を終了します

メモ

BS･110度CSデジタル放送用アンテナを個別に設置している場合

- 本機の「電源供給」を「入」にしてお使いください。
  (本機を含み複数台接続している場合も、本機ならびにすべての機器の「電源供給」を「連動」または「入」にしてお使いください。)

集合住宅などで、共同受信アンテナに接続している場合

- 本機の「電源供給」設定は「切」にしてお使いください。

お知らせ

- 本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続し、その機器からアンテナ電源を供給する場合は、本機の「電源供給」設定は「切」にしてお使いください。

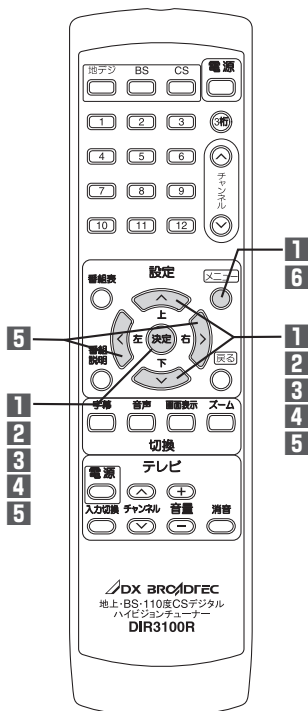
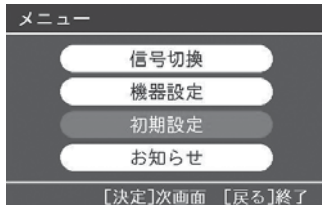
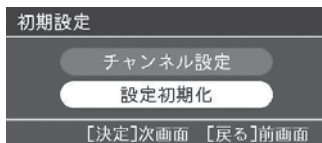
お知らせ

- 本機の「電源供給」設定を「入」にしていて、「BS/CSアンテナ線がショートしています。電源を抜き、アンテナ線をご確認ください。」というメッセージが表示される場合は、次の手順で操作してください。
  ①本機の電源を抜いてください。
  ②アンテナ線を抜き、芯線が曲がったり、金属部分に触れたりしていないかなどをご確認ください。
  ③「電源供給」を「切」にするときは、アンテナ線を抜いたまま本機の電源を入れて上記1～4の操作を行なってください。
  ④再度本機の電源を抜いたうえで、アンテナ線を元通りに接続してください。
  ⑤再度本機の電源を入れてください。

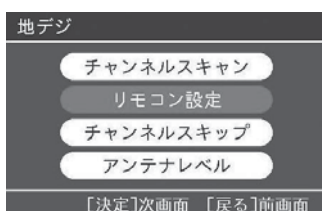
お知らせ

- 本機の「電源供給」の設定が「入」でも、本機がスタンバイ状態のときはアンテナへの電源供給が止まります。

チャンネルボタンの登録を手動で変更する

リモコンのチャンネル(数字)ボタン［1］〜［12］に設定されているチャンネル(放送局)の登録をお好みの設定に変更することができます。

1 ［メニュー］ボタンを押し、［上下］で「初期設定」を選んで、［決定］ボタンを押します

2 ［上下］で「チャンネル設定」を選んで、［決定］ボタンを押す

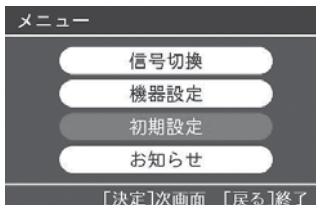
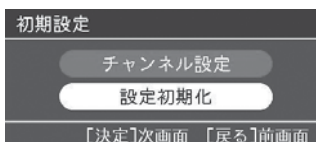
3 ［上下］で放送の種類「地デジ」「BS」「CS1」「CS2」を選んで、［決定］ボタンを押します

4 ［上下］で「リモコン設定」を選択し、［決定］ボタンを押します

5 ［上下］で「ボタン番号」を選択し、［左右］で設定する放送局を選んで、［決定］ボタンを押します

6 ［メニュー］ボタンを押して操作を終了する

- ［受信 CH］が［---］の［放送局］を［ボタン番号］に登録した場合は、その番号の数字ボタンを押すごとに、登録した［放送局］のサブチャンネルが切り換わります。
  例えば、ある放送局のサブチャンネルとして［021］［022］［023］が登録されていて、ボタン番号［2］に［---］の放送局を登録した場合は、ボタン［2］を押すごとに［021］→［022］→［023］と受信チャンネルが切り換わります。
  ［受信 CH］が［数字］の［放送局］を［ボタン番号］に登録した場合は、［ボタン］を押すと登録されたサブチャンネルだけを選局します。

チャンネルスキップを登録する

- 「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルは、⌃／⌄ボタンで選局する場合はそのチャンネルを表示せず、省略します。 チャンネル(数字)ボタン [1]～[12] に登録されているチャンネルは、「チャンネルスキップ」を設定していても チャンネル(数字)ボタン [1]～[12] を使って選局ができます。

1 メニューボタンを押し、上下で「初期設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で放送の種類「地デジ」「BS」「CS1」「CS2」を選んで、決定ボタンを押します

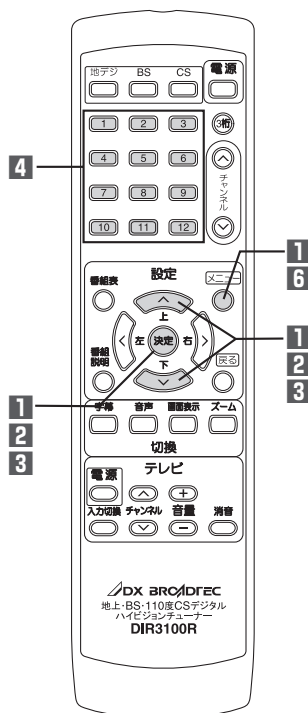
4 上下で「チャンネルスキップ」を選択し、決定ボタンを押します

5 上下で「サブチャンネル番号」を選択し、左右で「(スキップ)する」「(スキップ)しない」を選んで、決定ボタンを押します

6 メニューボタンを押して操作を終了します

その他の機能

暗証番号を設定する

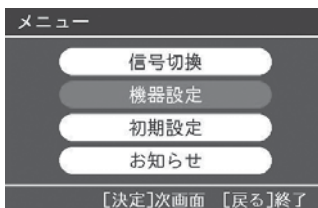
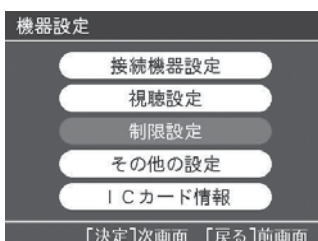
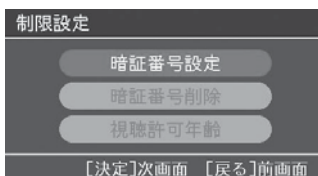
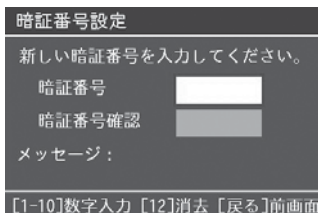
数字４桁を暗証番号として設定します。地上デジタル放送の全メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻すときに必要になります。（設定内容を初期（工場出荷時）状態にしたいとき 43）

お知らせ

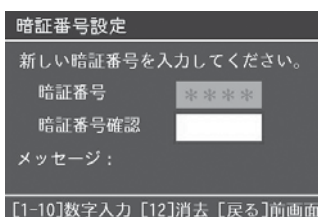
- 暗証番号を設定する場合は、設定した暗証番号をメモするなどして、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
  万一、暗証番号がわからなくなった場合は弊社カスタマーセンターにお問い合わせください。

お知らせ

- 設定済みの暗証番号を変更することもできます。
  暗証番号がすでに設定されている場合は、手順3の後で現在の暗証番号を入力して手順4に進みます。
  現在の暗証番号が間違っている場合は「暗証番号が間違っています。」というメッセージが表示されますので、正しい暗証番号を入力し直してください。

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「制限設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「暗証番号設定」を選択し、決定ボタンを押します

4 チャンネル（数字）ボタンで「暗証番号」に４桁の数字を入力します

「暗証番号確認」にも同じ数字を入力します

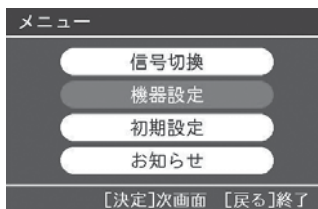
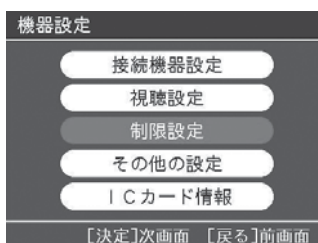
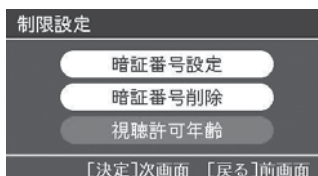
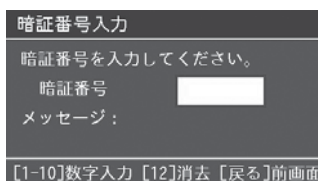
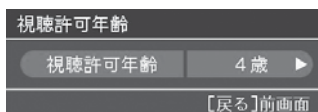
「暗証番号」と「暗証番号確認」が一致しない場合は、「暗証番号に差異があります。」と表示されます。もう一度、「暗証番号」から入力し直してください。

5 正しく設定されれば、「暗証番号の設定が完了しました。」と表示されます

6 メニューボタンを押して、操作を終了します

その他の機能

視聴許可年齢を設定する

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「制限設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「視聴許可年齢」を選択し、決定ボタンを押します

4 チャンネル(数字)ボタンで「暗証番号」に登録している暗証番号(４桁の数字)を入力します

5 左右で視聴を許可する年齢を設定します

6 メニューボタンを押して、操作を終了します

- 「暗証番号」を設定していないと「視聴年齢制限」は設定できません。

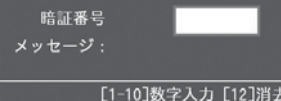
BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送では、視聴年齢制限つきの番組が放送されている場合があります。視聴年齢制限つきの番組を受信した場合は、暗証番号を入力することにより番組の視聴が可能になります。

「暗証番号」が未設定の場合

視聴年齢制限

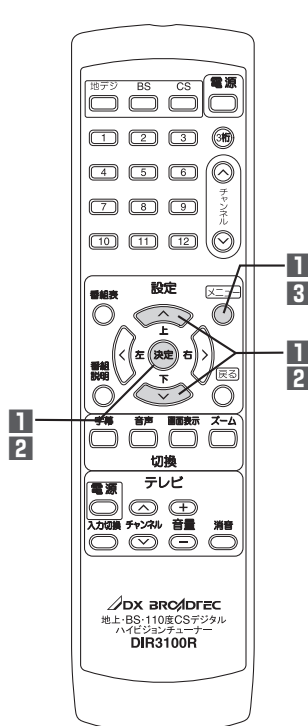
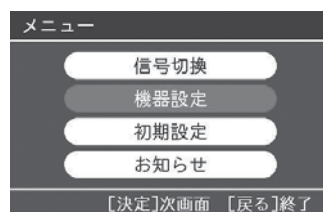
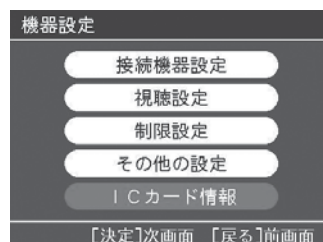
この番組は視聴年齢制限があります。
視聴するにはメニューより、
暗証番号を設定してください。

が表示されます。34ページ「暗証番号を設定する」にしたがって暗証番号を設定してください。

「暗証番号」が設定済の場合

が表示されます。登録している「暗証番号」（４桁の数字)を入力してください。

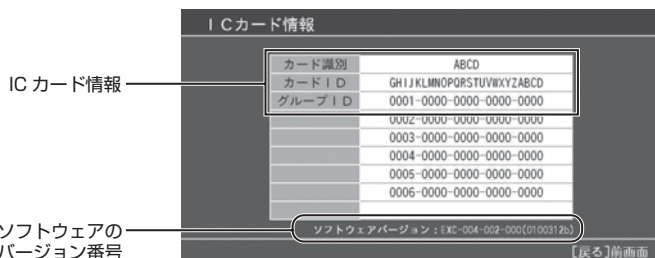
各種情報を確認する

B-CAS カード情報、ソフトウェアのバージョン番号を確認する

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「IC カード情報」を選んで、決定ボタンを押します

IC カード(B-CAS カード) の情報と、ソフトウェアのバージョン番号を表示します。

カード識別	ABCD
カードＩＤ	GHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCD
グループＩＤ	0001-0000-0000-0000-0000
	0002-0000-0000-0000-0000
	0003-0000-0000-0000-0000
	0004-0000-0000-0000-0000
	0005-0000-0000-0000-0000
	0006-0000-0000-0000-0000

ソフトウェアバージョン：EXC-004-002-000(0100312b)

[戻る]前画面

3 メニューボタンを押して、操作を終了します

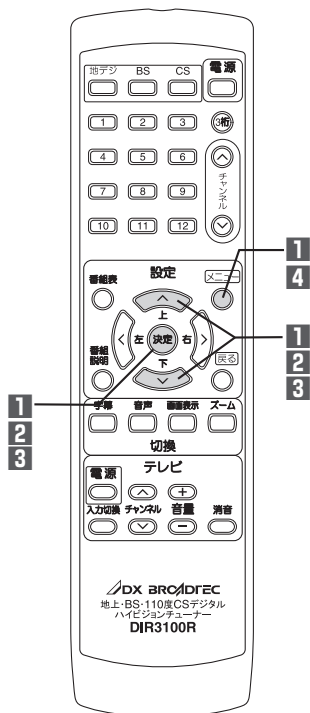
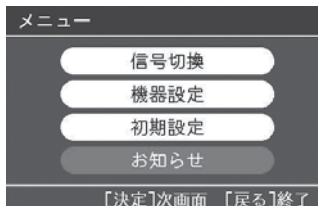
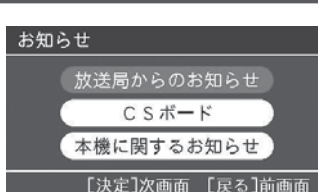
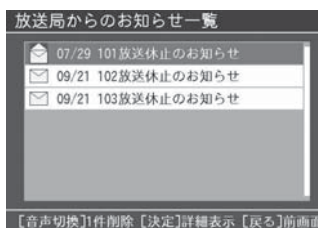
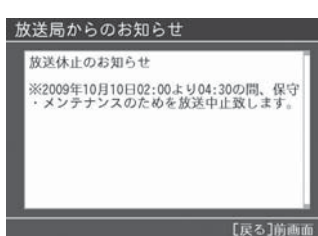
お知らせ

- IC カード情報画面には、ソフトウェアのバージョン番号も同時に表示されます。

放送局からのお知らせを確認する

メ モ

● 放送局からのお知らせが届いた場合、チャンネルを切り換えたときなどの番組詳細表示 24 において、メールのアイコンを表示します。

1 メニュー ボタンを押し、上下 で「お知らせ」を選んで、決定 ボタンを押します

2 上下 で「放送局からのお知らせ」を選んで、決定 ボタンを押します

本機に登録されている放送局からのお知らせの一覧を表示します。

3 上下 で「放送局からのお知らせ」を選んで、決定 ボタンを押します

4 メニュー ボタンを押して、操作を終了します

お知らせ

● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送の場合は最大８件、BS・110度CSデジタル放送の場合は最大24件が登録されます。
登録件数がこれより多くなった場合は、古いものから順に自動で削除されます。
● 手動で削除したか、または自動で削除されたかに関わらず、削除されたお知らせは元に戻せません。

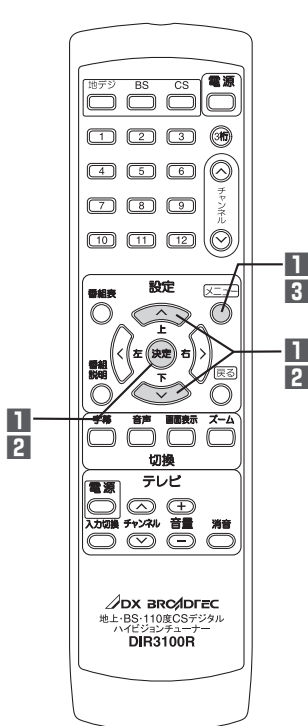
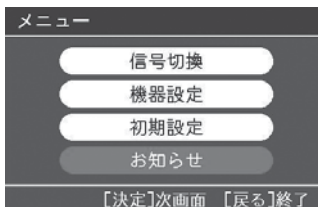
メ モ

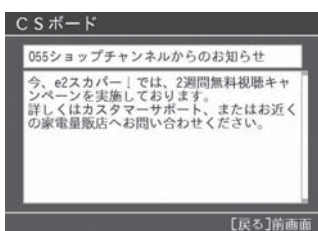
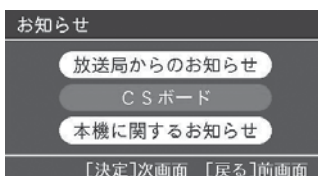
番組詳細表示 24 において、メールのアイコンが表示された場合、「放送局からのお知らせ」と、「本機に関するお知らせ」の両方をご確認することをお薦めします。番組詳細表示 24 において、メールのアイコンが表示された場合、いずれかを区別できません。

CS ボードを確認する

メ モ

- CS ボードは、110 度 CS デジタル放送の事業者がいろいろなサービスの案内をお知らせするものです。

1 メニューボタンを押し、上下で「お知らせ」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「CS ボード」を選んで、決定ボタンを押します

CS ボードを表示します。

3 メニューボタンを押して、操作を終了します

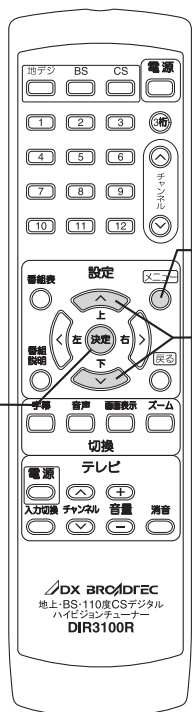
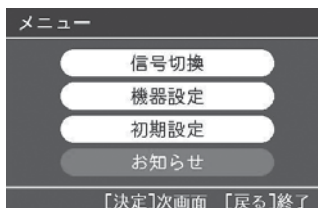
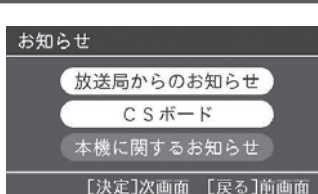
お知らせ

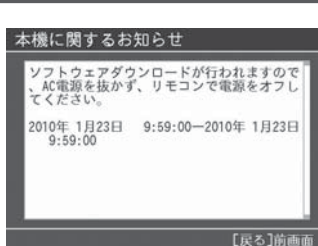
- CS ボードには、手順2で「CS ボード」を選んだ時点で放送に流れているものを表示します。CS ボードを表示しなおすと、前回と異なるものが表示される場合があります。

本機に関するお知らせを確認する

メモ

- 本機に関するお知らせがある場合、チャンネルを切り換えたときなどの番組詳細表示 24 において、メールのアイコンを表示します。

1 メニューボタンを押し、上下で「お知らせ」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「本機に関するお知らせ」を選んで、決定ボタンを押します

本機に関するお知らせの一覧を表示します。

3 上下で表示したいお知らせを選んで、決定ボタンを押すと、お知らせの詳細を表示します

4 メニューボタンを押して、操作を終了します

お知らせ

- 「本機に関するお知らせ」は、最大 32 件が登録されます。登録件数がこれより多くなった場合は、古いものから順に自動で消去されます。
- 手動で削除したか、または自動で削除されたかに関わらず、削除されたお知らせは元に戻せません。

メモ

番組詳細表示 24 において、メールのアイコンが表示された場合、「放送局からのお知らせ」と、「本機に関するお知らせ」の両方をご確認することをお薦めします。番組詳細表示 24 において、メールのアイコンが表示された場合、いずれかを区別できません。

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。
本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応しておりますので、操作や設定を行うことなく常に最新版で更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 本機が自動でダウンロードの実施を判断します

・アップデートが必要であることを判断した場合、チャンネルを切り換えたときなどの番組詳細表示24において、メールのアイコンを表示します。

「本機に関するお知らせを確認する39」の操作を行なって「ダウンロードに関するお知らせ」が届いていないかをご確認ください。

・「ダウンロードに関するお知らせ」が届いている場合は、該当する時間は電源切（待機状態）にしておいてください。
・ダウンロード実行中は電源ランプが橙色点灯になります。故障の原因となりますので、電源ランプが橙色点灯中は電源プラグを抜かないでください。

■ ダウンロードが正常に終了すると

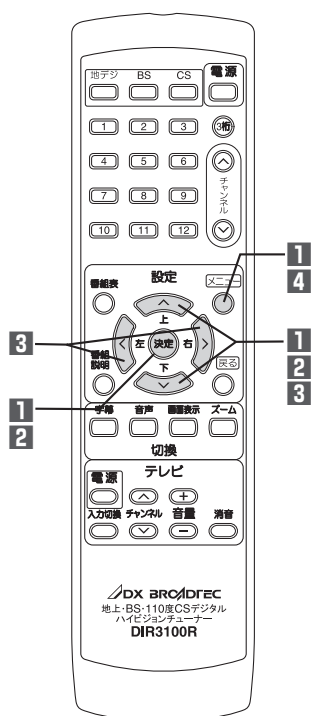
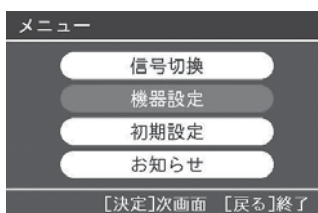
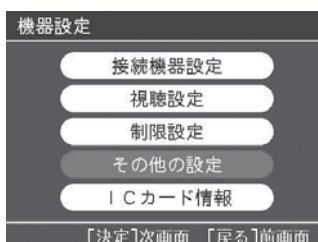
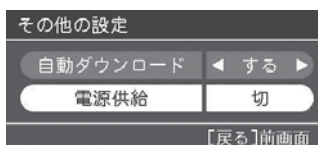
・「本機に関するお知らせ」にダウンロード完了のお知らせが届きます。このときも、チャンネルを切り換えたときなどの番組詳細表示24において、メールのアイコンを表示します。

・メニューの「本機に関するお知らせ」を選択して確認することができます。
（本機に関するお知らせを確認する39）

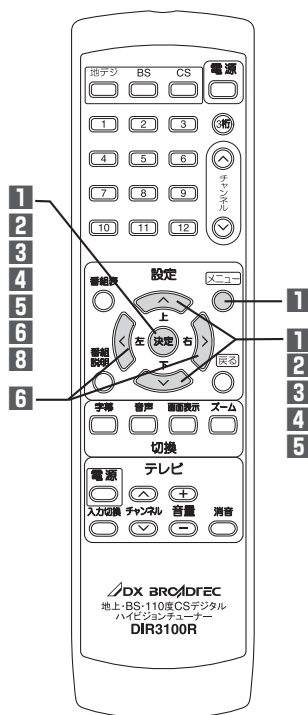
■ ソフトウェアのバージョンを確認するには

・メニューの「IC カード情報」を選択して確認します。
（B-CAS カード情報、ソフトウェアのバージョン番号を確認する 36）

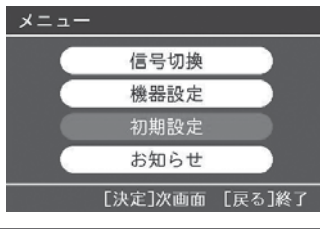
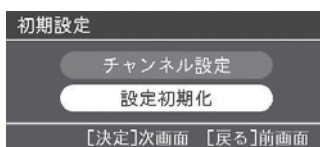
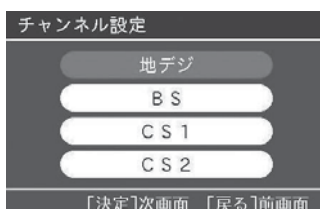
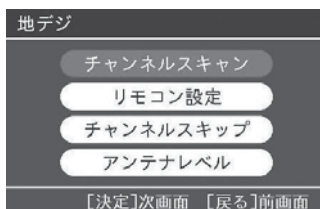
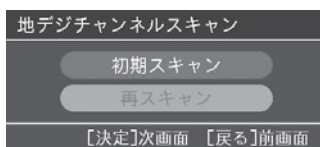
ソフトウェアのダウンロードを有効にするには、「自動ダウンロード」を有効にしておく必要があります。
工場出荷時は「自動ダウンロード」は「する」に設定されています。

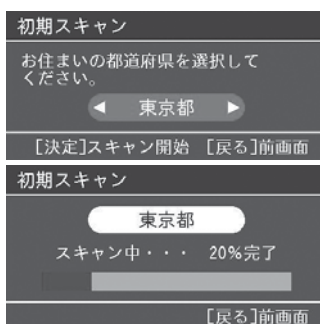
自動ダウンロードを設定する

1 メニューボタンを押し、上下で「機器設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「その他の設定」を選んで、決定ボタンを押します

3 上下で「自動ダウンロード」を選択し、左右で「する」「しない」を選びます

4 メニューボタンを押して、操作を終了します

受信チャンネルを再設定する

引越しなどで本機を別の地域に移動したときや、お住いの地域で放送局の開局・変更があった場合には受信チャンネルを再設定する必要があります。

1 メニューボタンを押し、上下で「初期設定」を選んで、決定ボタンを押します

2 上下で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押します

3 上下で「地デジ」を選び、決定ボタンを押します

4 上下で「チャンネルスキャン」を選び、決定ボタンを押します

5 上下で「初期スキャン」または「再スキャン」を選び、決定ボタンを押します

6 左右でご使用になる地域を選び、決定ボタンを押します

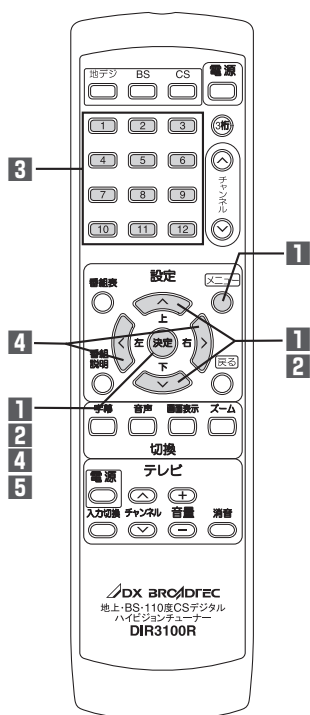
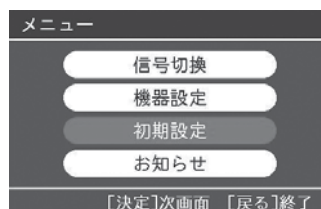
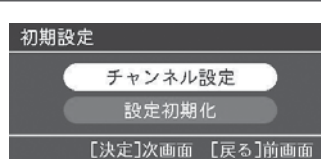
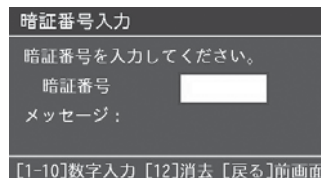
初期スキャンを実行します。

- 引越しなどで、お住いの地域が変わった場合は、手順5で「初期スキャン」を選んだ後、手順6で地域を選択してください。
- お住いの地域で放送局の開局・変更があった場合は、手順5で「再スキャン」を選べば、手順6の初期スキャンに進みます。この場合は、手順6の地域の選択は必要ありません。

7 初期スキャンが完了すると、見つかったチャンネルを表示します

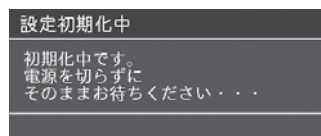
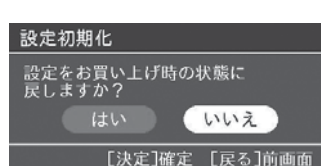
8 (決定)ボタンを押します

チャンネルの登録を終了し、地上デジタル放送の受信状態になります。

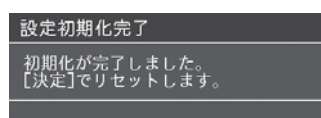
設定内容を初期(工場出荷時)状態にしたいとき

※設定内容(メニュー設定、チャンネル設定)を初期(工場出荷時)状態に戻します。

1 (メニュー)ボタンを押し、(上下)で「初期設定」を選んで、(決定)ボタンを押します

2 (上下)で「設定初期化」を選んで、(決定)ボタンを押します

3 「暗証番号」が設定されている場合は登録している「暗証番号」(4桁の数字)を入力します

※暗証番号を設定していないときは、この画面は表示されません。

4 (左右)で「はい」を選んで、(決定)ボタンを押します

設定初期化を実行します。

5 初期化が終了したら、(決定)ボタンを押してリセットします

設定初期化完了

初期化が完了しました。
[決定]でリセットします。

お知らせ

- 「初期化が完了しました」の画面が出るまでは電源を切らないでください。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
全般	映像が出なくなったり表示がおかしくなった。 また、急にリモコンが操作できなくなった。	何かおかしいと感じられたときは、本機の AC アダプターをコンセントから抜いて、10 秒程度待ってから再度コンセントに接続し、電源を「入」にしてください。	14
	映像も音もでない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ • AC アダプターが本体から抜けていませんか？ • 本機の電源が「入（緑点灯）」になっていますか？ • テレビの入力切換が、本機を接続した外部入力に切り換わっていますか？	14 14 17～19 17～19
	電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ • AC アダプターが本体から抜けていませんか？	14
	リモコンが動作しない	• リモコンの乾電池の極性は正しい向きに入っていますか？ • リモコンの乾電池が、消耗していませんか？ • リモコンは本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。	15 — 15
	映像は出るが、音声が出ない	• テレビの音量調整が最小になっていませんか？ • テレビが「消音」状態になっていませんか？ • テレビのヘッドフォン端子に、ヘッドフォンプラグが差し込まれたままになっていませんか？ • D3/D4 映像出力端子は映像用です。これを使うときは、音声端子も接続してください。	17～19 — — 13
	特定のチャンネルが映らない	• 受信チャンネルは正しく設定されていますか？ • 受信設定の地域設定は正しく設定されていますか？ • アンテナの向きがずれていませんか？ • アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	16 16 12 12
	ラジオに雑音が入る	近くでラジオを使用すると、雑音が入る場合があります。本機、ならびに、テレビから十分に離してご使用ください。	—
	「ピシッ」と音がする	冷暖房時などの室温の変化によりキャビネットが僅かに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
	画面にモザイク（四角のノイズ）がでる	• アンテナの向きがずれていませんか？ • アンテナの前面に障害物がありませんか？ • アンテナおよびアンテナケーブルは適切な仕様のものを使っていますか？ • B-CAS カードは正しく装着されていますか？	12 12 12 14
デジタル放送関係	デジタル放送が受信できない	• アンテナが正しく設置されていますか？ • 放送関係アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ • 受信設定の地域設定は正しく設定されていますか？ • 受信チャンネルは正しく設定されていますか？ • 地上デジタル放送の受信エリア外ではありませんか？ • CATV ご使用の場合、トランスモジュレーション方式ではありませんか？ • BS･110度 CSデジタル放送の場合、アンテナへの電源供給は正しく設定していますか？	12 12 16 16 — 12 31
	電子番組表（EPG）が表示されない	• 本機の電子番組表（EPG）では、視聴中は視聴中のチャンネルの番組内容が更新されます。また、番組表の表示中は、表示中のチャンネルの番組表が更新されます。	22
	一部表示されない番組がある	• 設定メニューの「自動ダウンロード（41ページ）」を「する」に設定すれば、本機が電源切（待機状態）時に番組表データが更新されます。（番組表更新中は、橙色点灯になります。）	22
	字幕や文字スーパーが出ない	• 字幕の設定や文字スーパーの設定が「なし」になっていませんか？ • 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？	28 29 22 24

メッセージ表示一覧

メッセージ	内容
BS/CS アンテナ線がショートしています。電源を抜き、アンテナ線をご確認ください。	アンテナの電源供給を「入」にしている場合で、電源に異常がある場合に表示されます。
スキャンが完了していないため、地上デジタル放送が視聴できません。 決定ボタンで初期スキャンを行なってください。 ([BS][CS] で視聴画面に戻ります。)	決定ボタンを押すと、初期スキャンの画面（16ページ「地上デジタル放送の受信設定」の手順3）に切り換わります。手順4以降の操作を行いチャンネルスキャンを行なってください。
チャンネルが設定されていません。	16ページ「地上デジタル放送の受信設定」を行なってください。
指定したチャンネルはありません。	使われていない３桁チャンネル番号を指定した場合に表示されます。番組表などでチャンネルを確かめてください。
電波の受信状態が良くないため、低階層放送に切り換えました。コード：E201	受信レベルが低下して受信状態が良くない場合に表示されます。雨や雪など天候の影響で一時的に受信しにくい状態になっている場合もあります。
信号が受信できません。 アンテナ線をご確認ください。 コード：E202	受信レベルが低下し、受信できない場合に表示されます。アンテナ線が正しく接続されていない場合にも表示される場合があります。 BS･110度 CSデジタル放送の場合、アンテナへの電源供給が必要な場合があります。（31ページ）
現在放送されていません。 番組表で放送時間をご確認ください。 コード：E203	番組表などで放送時間を確かめてください。雨や雪など天候の影響で一時的に受信しにくい状態になっている場合もあります。
番組表でチャンネルをご確認ください。 コード：E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。
現在、XXXch で緊急警報放送を行なっております。	緊急放送が開始された場合に表示されます。決定ボタンを押すと緊急放送を行なっているチャンネルに切り換わります。
B-CAS カードを正しく装着してください。	B-CAS カードが正しく読み取れない場合に表示されます。
この B-CAS カードは使用不能です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A102, A104, A105, A106, A107, A1FE, A1FF, コード無し	本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。
B-CAS カードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400, 6581	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。
このチャンネルは未契約です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A103	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。
このチャンネルは視聴できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：4040, 4280, 4480, 8500, 8300, 8901, 8501, 8301	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8902, 8502, 8302	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。
このチャンネルは視聴条件により、視聴できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8108, 8109, 8903, 8503, 8303	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。

おもな仕様

<table>
<tr><td colspan="2">品名</td><td>地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体寸法：幅×奥行×高さ</td><td>18cm × 13.8cm × 3cm（突起部含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体質量</td><td>約 480g</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用電源 AC アダプター</td><td>（品番：XKD-C2000IC6.0-12W）
AC 100V 50Hz/60Hz DC 6V/2A（最大）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度範囲</td><td>0 ～ ＋ 40℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力 / 待機時消費電力</td><td>3.8W（アンテナへ電源供給しないとき）/ 0.5W
（アンテナ電源供給 DC15V　最大 4W）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">放送</td><td>放送方式</td><td>地上デジタル放送（ARIB ISDB-T）
衛星（BS・CS）デジタル放送（ARIB ISDB-S）</td></tr>
<tr><td>チューナー</td><td>地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー × 1</td></tr>
<tr><td>受信チャンネル</td><td>地上デジタル：000 ～ 999ch（CATV パススルー対応）
BS デジタル：000 ～ 999ch
110 度 CS デジタル：000 ～ 999ch</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能</td><td>電子番組表（EPG）</td><td>○（当日を含め８日分）</td></tr>
<tr><td>字幕・文字スーパー</td><td>○</td></tr>
<tr><td>テレビ画面サイズ切換</td><td>ノーマル（4：3）/ ワイド（16：9）</td></tr>
<tr><td>二重音声／ステレオ</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">入出力端子</td><td>アンテナ入力端子</td><td>地上デジタルアンテナ端子 ×１系統
BS・110 度 CS デジタルアンテナ端子 ×１系統</td></tr>
<tr><td>映像出力端子</td><td>１系統（D3/D4 映像出力端子との同時接続は D3/D4 映像出力端子優先）</td></tr>
<tr><td>D3/D4 映像出力端子</td><td>１系統（D3：1080i または D4：720p 切換）</td></tr>
<tr><td>音声出力端子</td><td>１系統</td></tr>
</table>

● データ放送／双方向サービスには対応していません。
● 付属の映像・音声コードを接続して映像出力端子を使用した場合、ハイビジョン番組は標準画質で表示されます。
● 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用しているソフトウェアについて

● 本機は、著作権保護技術を使用しており、米国ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、米国ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造したりすることも禁じられています。

保証と修理サービス

修理サービスについて

- 製品に異常が生じたときには、44ページの「故障かな? と思ったら」をお読みになり、点検してください。点検を繰り返しても正常に動作しないときは、お買いあげの販売店またはお近くの当社支店、営業所にご相談ください。
- ご転居のときは事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときには、この取扱説明書の裏表紙の営業所をご覧のうえ、お近くの当社支店、営業所へご相談ください。

補修用性能部品について

- このデジタルチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●この製品の保証期間は、お買い上げ日より１年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。

●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

●なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店･営業所にお問い合せください。

裏表紙に記載している保証書に必要事項をご記入ください。

●無料修理規定

1.保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。

2.次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。

①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。

③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。

④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。

⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。

⑥本保証書が添付されていない場合。

⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。

5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

6. この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

注意事項

- ●地上デジタル放送を受信するためには、対応したUHFアンテナが、BS･110度CSデジタル放送を受信するためには、BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナが必要です。詳しくは、販売店などにご相談ください。
- ●設置および接続が正しく行なわれている場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建築物が建っていたり、電波が弱い場合などは、受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。このような場合は、販売店などにご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
- ●CATV放送は、サービスが行なわれている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がCATVパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ入力端子に接続して受信することもできます。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- ●マンションなどの集合住宅において共同受信設備をお使いの場合は、地上デジタル放送に対応しているかどうか、管理組合または管理会社などにご確認ください。
- ●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話等の機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像･音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- ●本機に接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- ●著作権保護された番組をビデオデッキ等で録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してテレビに出力した場合には画質が劣化する場合がありますが、機器の故障ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本機とテレビを直接接続してお楽しみください。
- ●お客様がビデオデッキ･DVDレコーダーなどで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ●日本国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- ●本機の仕様およびデザインは改良などのため予告なく変更する場合があります。
- ●この取扱説明書に掲載しているイラストや画面表示などは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。

アナログテレビ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送と、BSアナログテレビ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	B-CASカード番号 （B-CASカードの裏面に表示されています。）	□□□□-□□□□-□□□□-□□□□-□□□□

保　証　書

※印欄に記入がない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

【 DXアンテナ株式会社 】
ホームエレクトロニクス営業部

受付時間9:00～17:30（土曜･日曜･祝日および夏季休暇･年末年始は除く）

首都圏ホームエレクトロニクス営業部	〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング7F ☎(03)3526-5318　FAX(03)3526-5712
近畿ホームエレクトロニクス営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06)6889-1530　FAX(06)6889-1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

･札幌支店	TEL.(011)822-1251㈹	･宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100㈹	･金沢支店	TEL.(076)261-9988㈹	･高松営業所	TEL.(087)868-1222㈹
･旭川出張所	TEL.(0166)37-5830㈹	･新潟営業所	TEL.(025)276-2166㈹	･富山営業所	TEL.(076)422-7878㈹	･松山営業所	TEL.(089)925-3826㈹
･東北支店	TEL.(022)243-2141㈹	･茨城営業所	TEL.(029)826-5341㈹	･大阪支店	TEL.(06)6304-5651㈹	･福岡支店	TEL.(092)541-0168㈹
･盛岡出張所	TEL.(019)636-1581㈹	･千葉支店	TEL.(043)253-1121㈹	･堺営業所	TEL.(072)278-5311㈹	･北九州営業所	TEL.(093)922-6556㈹
･郡山出張所	TEL.(024)921-7131㈹	･静岡営業所	TEL.(054)281-0141㈹	･京都営業所	TEL.(075)382-6141㈹	･長崎出張所	TEL.(095)842-0780㈹
･東京支店	TEL.(03)3526-5402㈹	･浜松営業所	TEL.(053)461-6885㈹	･神戸支店	TEL.(078)579-8550㈹	･大分営業所	TEL.(097)504-7799㈹
･東京東出張所	TEL.(03)5654-9881㈹	･中部支店	TEL.(052)919-6531㈹	･姫路出張所	TEL.(079)283-5920㈹	･熊本営業所	TEL.(096)325-0711㈹
･多摩営業所	TEL.(042)572-4911㈹	･松本営業所	TEL.(0263)27-7801㈹	･広島支店	TEL.(082)237-5331㈹	･南九州営業所	TEL.(099)267-8211㈹
･横浜支店	TEL.(045)651-2557㈹	･豊橋営業所	TEL.(0532)57-2133㈹	･岡山営業所	TEL.(086)245-2948㈹	･沖縄営業所	TEL.(098)874-6202㈹
･北関東支店	TEL.(048)652-3311㈹	･三重出張所	TEL.(059)226-1643㈹	･山陰出張所	TEL.(0853)24-2343㈹		

（2010年5月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001（代）　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327（代）
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜･日曜･祝日および夏季･年末年始休暇は除く）
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4499-3